

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町 1 - 1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043 (223) 3005
発行日 毎月 1 日
平成 29 年 9 月号

頑張る産地



県内最大のキュウリ産地の維持発展

海匠農業事務所 改良普及課
普及指導員 森井 智美

J A ちばみどり旭胡瓜部会は県内最大のキュウリ出荷組織です。近年、環境制御の重要性が改めて認識され、徐々に普及し、収量の向上が図られています。今回は J A ちばみどり旭胡瓜部会の収量・品質向上の取組について紹介します。

1 はじめに

旭市の J A ちばみどり旭胡瓜部会は、生産者数約 180 名、出荷量約 9,000 t の県内最大のキュウリ出荷組織です。大型選果施設フレッシュグリーンを通して、キュウリの周年出荷を行っています。また、一般的なキュウリの他に、イボなし品種の「フリーダム」や歯切れのよい「四川キュウリ」、断面がハートの形の「ハートキュウリ」など様々な商品づくりに取り組んでいます。近年は単収の向上を目的に、環境制御の重要性が改めて認識され、炭酸ガス施用機等の導入により出荷量が増加傾向にあります。また、農業後継者も多く、部会員の年齢も 40~50 歳代が中心となっており、栽培についての講習会や検討会等が活発に行われています。

2 環境制御関連機械の導入

環境制御技術は施設内を、植物がより光合成しやすく、生育に適した環境にすることで、植物の生育を促進し、収量を上げる技術です。環境を制御するために、炭酸ガス施用機や施設内の環境をモニタリングするシステムなどの導入が進んでいます。また、導入に合わせて、環境制御についての勉強会や検討会などを実施し、技術の確立を図っています。



環境制御についての講習会

3 安心・安全農産物の生産への取組

当部会では、消費者に安心安全なキュウリを届けるため、農薬記録簿の徹底やトレーサビリティの取組、I P M 技術の導入や地域の廃プラスチックの回収などの環境負荷低減の取組を行っています。I P M 技術の一つとして、天敵導入に力を入れており、農薬メーカーとの現地巡回指導や講習会を行い、効果的な利用の普及を図っています。



天敵農薬「スワルスキー」の放飼

4 今後の取組

当部会では、環境制御に関連する機械をより効率よく使うために、施設内環境データと収量データの分析や検討会を実施し、技術の確立を図ります。また、今後機械導入を行う生産者がスムーズに機械を利用できるように環境制御技術導入事例の取りまとめを検討しています。さらに、安心・安全農産物の生産への取組として、部会として G A P 導入に力を入れていく意向です。J A ちばみどり旭胡瓜部会は、引き続き、千葉県最大のキュウリ産地の維持発展に向けて、生産量、出荷量アップを目指していきます。